

16課 結末・最終の状態

[復習] • よく考えた末、帰国することにした。

• 忙しくて、あの連続ドラマはとうとう見ずじまいだった。

• 兄は5年前に家を出たきり、一度も帰ってきていない。

1 ～に至って・～に至っても

⇒ 事態が～まで進んでやっとある状態になった・事態が～まで進んでもある状態にならない。

①死者が出るに至って、国は初めて病気の感染拡大の深刻さに気がついたのだ。

②病気の牛20万頭が処分されるに至って、経済的混乱がマスコミに取り上げられるようになった。

③ひどい症状が出るに至っても、彼は病院へ行こうとしなかった。

④大切な情報がインターネットで流れるという事態に至っても、ことの重大さを認識できない人たちがいる。

名・動辞書形 + に至って・に至っても

⚠ 普通では考えられない状態を表す言葉につく。「～に至って」の後には、事態がそこまで進んでやつてどうなったか、「～に至っても」の後には、進んでもどうならないかを言う文が来る。

2 ～に至つては

⇒ ～という極端な例では、ある状態だ。

①デパートの閉店が相次いでいる。Aデパートに至つてはすでに三つの支店が閉店した。

②毎年この地方は洪水の被害を受ける。長崎県に至つては今年もう3回目だ。

③わたしは理数系の科目が不得意だった。物理に至つては全く理解できなかった。

名 + に至つては

⚠ 全体としてあきれた、ひどいという評価を表す。程度が極端な例につく。後には、その例がどんな状態かを言う文が来る。

3 しまつ～始末だ

⇒ 悪い状態が経過し、とうとう～という悪い結末になった。

①おいは遊んでばかりいてまじめに働きもせず、とうとう会社を辞めてしまう始末だ。

②田中さんはお酒を飲んで大きな声でしゃべり続けた後で、ついに泣き出す始末だった。

③兄は借金を返すためと言って家にあるものをお金に換え、父の時計まで売ってしまう始末だ。

動辞書形 + 始末だ

⚠ 悪い結末を表す文につく。ふつう、その前に悪い状態が続いていたことの説明がある。また結末を強調する言葉(ついに・とうとう・～までなど)と一緒に使うことも多い。

4 ～っぱなし

⇒ 普通はないような～という状態が続いている。

①昨日は電気をつけっぱなしで寝てしまった。

②友達に半年も本を借りっぱなしになっている。

③一日立ちっぱなしの仕事なので、足が疲れる。

④相手も悪いのに、わたしだけ言われっぱなしで何も言い返せなかつた。

動ま手 + っぱなし

⚠ 主に良くない状態を表す。不満や非難を表すことが多い。



1

- 親の涙を()に至って、僕は自分がやってきたことを反省した。
- 見る
 - 見た
 - 見たこと
- 決定的な証拠が見つかるに至って、犯人は()。
- まだ見つからない
 - 背の高い男のようだ
 - ようやく罪を認めた
- 犠牲者が出る()問題の深刻さに気がつくのでは遅いのだ。
- に至って
 - に至っては
 - に至っても
- ()に至っても、政府は交渉のやり方の不適切さに気づかない。
- 3度も交渉に失敗する
 - 初回の交渉に失敗する
 - 交渉を始める

2

- どの世代でも読書離れが目立つ。20代の若者()新聞さえ読まないようだ。
- に至って
 - に至っては
 - に至る
- 不況で就職は厳しくなっている。ある大学に至っては就職内定率が()そうだ。
- 昨年より少し低下した
 - 昨年と同じくらいだった
 - 昨年の3分の2だった

3

- 弟の子供たちは甘やかされて育ち、今では親に()始末だ。
- 命令する
 - 命令した
 - 命令の
- 後輩のためと思ってあれこれ教えてあげたのだが、()始末だ。
- もう知っている
 - おせっかいと言われる
 - 感謝される
- うちの息子はどうしようもない。何をやってもうまくいかず、ついに()始末だ。
- アルバイトを探し始める
 - アルバイトでお金を稼ぐ
 - アルバイトも辞めさせられる

4

- あ、本が()だ。
- 途中まで読みっぱなし
 - 片付けっぱなし
 - 出しっぱなし
- ケーキを冷蔵庫に入れっぱなしにして、()
- 冷えておいしくなった
 - おいしくなくなってしまった
 - あした食べるつもりだ
- 彼は仕事を他人に任せっぱなしで、自分では()。
- 一生懸命だ
 - 何もしない
 - 意見を待っている
- 久しぶりに会った友達と、朝まで()だった。
- しゃべりっぱなし
 - 眠りっぱなし
 - 楽しく過ごしちゃなし

1~4

- ダイエットに夢中のあの子は、とうとう果物さえ()。
- 食べずじまいだ
 - 食べなくなる始末だ
 - 食べっぱなしだ
- わが社の新商品がテレビで紹介されて、昨日は問い合わせの電話が一日中()。
- 鳴るに至った
 - 鳴る始末だった
 - 鳴りっぱなしだった
- 全労働者の4割近くが正社員でないという状況に()、雇用問題がようやく社会全体の問題として考えられるようになった。
- 至って
 - 至っては
 - 至っても